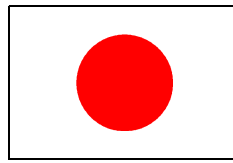




リマ日通信



平成28年度
リマ日本人学校
学校だより
6月号

成長の証

学校長 渡辺常彦

今月は修学旅行、土曜授業（わくわくタイム）、ラ・ウニオン校招待など行事の多い月でした。校外の行事は安全面を含め、かなり綿密な計画をもとに行っています。

特に3日間の修学旅行は引率する先生も、学校で他の学年の授業をしている先生も（安全で充実した旅行でありますように）と心から願ってその帰りを待ちます。

私自身も教職についてから、修学旅行の引率、あるいはお見送りを毎年続けています。かれこれ40回以上になります。

40回も見てると修学旅行がよかったか悪かったかは、帰ってきたバスを降りる子ども達の様子を見るとほぼわかります。そしてこれからの学校や学級がどうなるかも見当がつきます。

修学旅行はこれまで小学部（5,6年生）と中学部（1,2年生）を隔年で行っていましたが、昨今の児童生徒数の減少などから、今年度より合同で行うことにしました。



今年の子どもの様子も、本当に楽しかったと、ほおを紅潮させ充実させた表情で一杯でした。その瞬間、それまでの道中の不安もいっぺんに吹き飛ばす思いです。

旅行のねらいはもちろん普段出来ない場所での見聞を広めることですが、それ以上に昼夜を共にした仲間と、お互いに支え合い、助け合い、励まし合いながら仲間作りを進めていくことが大きな目的のひとつです。そしてその力がこれからの学校や日頃の学習を支えていくのです。

誰もが経験した修学旅行。学級がまとまって旅行に出るという行事を行うのは日本の学校以外は多くないと聞きます。通常の3日間の授業と交換してもありあまる高い教育効果が期待できるからこそ、クラスがまとまって、あるいは他学年と一緒に行動しながら多くのことを学びました。

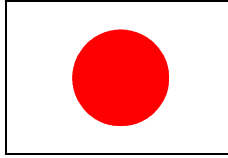
一学期終了まであと半月。子ども達の成長を実感して終業式を迎えたいと思います。



<今後の行事予定> 【6月】29(水)サンペドロ、30(木)~7/1(金)中学部期末試験
【7月】5(火)~8(金)個人懇談会、8(金)第1回給食デー [昼食はPTAの方が給食を作っていただけ]、英検2次、9(土)わくわくタイム、13(水)非常事態訓練、15(金)終業式、16(土)冬季休業日開始、28(木)~29(金)独立記念日



リマ日通信



平成28年度
リマ日本人学校

学校だより
6月号

ペルーでの修学旅行

6月8日(水)9日(木)10日(金)の二泊三日で小学部5年、6年、中学部1年、2年の9人が修学旅行に行ってきました。バスで学校を出発してセロ・アスールへ。カニエテの慈恩寺を見学した後、ピスコにある交流校訪問で「ホセ・デ・ラ・トレウガルテ校」へ行きました。折り紙や、いろいろな運動ゲームと一緒にしました。「花まつり」を披露し大きな拍手もいただきました。二日目は世界遺産にも指定されているナスカの地上絵を間近で見ました。ナスカ文明についても学びました。最終日はパラカスの自然保護区を見学しました。小学部と中学部が力を合わせ協力して何事にも取り組むことができ、これからリマ日校を引っ張ってくれる存在になってくれるものと、頼もしく感じました。多くの方の協力で、こうやって修学旅行に行くことができることに感謝する心も学んでくれたものと思います。



『交流校にて』



『ピスコで昼食』



『パルパの地上絵の前で』



『ナスカの地上絵の前で』

修学旅行の感想【抜粋】

みんなで修学旅行に行けたのがすごくうれしかった。サンドバギーとサンドボードが楽しかった。バスレクも楽しかった。ペルーについて詳しくわかった。そして、みんなの良いところをたくさん見つけることができた。あと、料理がとてもおいしかった。夕焼けがきれいだった。ナスカの地上絵がとても大きかったし、ナスカラインがとても長く、直線だったので驚きました。ワカチナ湖の水がきれいでした。そして、慈恩寺の鐘の音に感動しました。この修学旅行は、私にとってペルーのことを学ぶことができ、思い出に残るものになりました。特にナスカの地上絵が印象に残っています。ミラドールから見る景色は下からみるのとはまるで違っていて驚きました。友達との仲も深まり、協力することの大切さを知りました。



『ナスカの地下水路にて』



『イカ・ワカチナにて』



『イカ・ワカチナにて』



『パラカス自然保護区にて』

<非常事態訓練>

6月2日(木)に今年度第3回(年7回)の非常事態訓練を実施しました。スクールバス乗車中に銃撃発生、身を低くしての防御姿勢の訓練や車両故障による緊急乗り換え等を想定し訓練を行いました。自分の命は自分で守るという意識で真剣に取り組むことができました。無線での連絡方法も体験しました。



銃声で身を低く



緊急乗り換えでバスを移動



大使館の方から

土曜授業 第1回「わくわくタイム」

6月18日(土)に今年度初めての「わくわくタイム」を行いました。授業内容はペルー料理体験「パモス ア コシナール ペルビアン コミダ」です。講師にパトリシア・サバラ・トレド氏をお迎えし、3種類の料理作りに挑戦しました。ボランティアの保護者の方々の協力もあり、小学部1年生から中学部3年生までが自分の役割を協力しながらそして、アドバイスをもらいながら取り組むことができました。最後はみんなで美味しく試食することができました。保護者の皆様には今回のレシピも配布しました。すでに親子で作ってみたいご家庭もあるようです。

